

将来、生徒たちが社会で活躍し、快適に暮らすためには…。

校長 岩本 眞由美

今年の全国高等学校野球選手権大会での優勝校・準優勝校の両監督のことに「生徒たちに考えさせました。」が共通してあげられました。

現在の生徒たちにとってこの「考える」ことは、必要不可欠とされています。そのために授業ではもちろんですが、様々な場面において生徒に「考えさせる」ことを設定し、工夫の努力をしています。では、なぜ「考える」ことが重要視されているのでしょうか。

生徒たちが社会で活躍する頃には、少子高齢化や AI 技術の進歩などにより、社会の構造そのものが大きく変化することが予想されています。その社会で生き抜くためには、自分の置かれた状況の課題を考え・判断し、知識や技術を活用して文章や口頭で表現し、課題解決に向けて行動する力が求められています。

そこで、生徒たち自身が、将来どんな社会になっているのかを理解しておく必要があります。そして、その社会で充実した生活を送るために必要なものは何か。また、今、どんなことを意識して生活や学習をするべきかを考えてほしいと思っています。始業式で、文部科学省が作成した『動画でわかる Society5.0』を全校生徒で見て、自分の将来について考える機会をもちました。

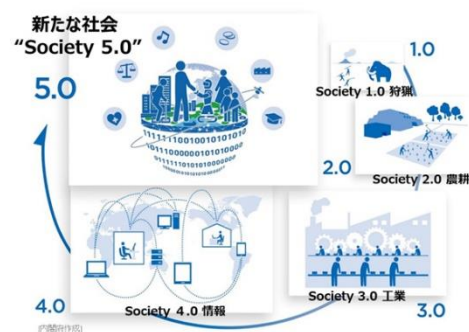
また、経済産業省が昨年「未来人材ビジョン」を公表し、社会で働くために必要な能力などを示しました。企業は今までは、真面目にコツコツと働ける人材を求めていましたが、2050 年に求めている力は「問題発見力」です。問題を解決するのではなく、そもそも何が問題なのかを見極める力が求められそうです。

令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の結果が 7 月 31 日に公表されました。英語の「話すこと」について、平均正答率が 12.4%（一問も解けなかった生徒が 6 割を超えた）と低水準でした。[話すことについては、抽出校実施]

1 例をあげてみます。ニュージーランドの留学生が英語で環境問題のため、レジ袋をお店で売るのがをやるべきだと訴え、「あなたはどうか」と問うています。これを英語で聞いて、英語で話します。英語の能力に加え、世の中の問題や社会常識に普段から接していなければ解答はなかなか出てこないでしょう。

「書くこと」にも同様の傾向がありました。ロボットが身の回りで利用されていることを説明した上で、ロボットによって人々の生活がよりよいものになる、と述べた文章に対する考えを尋ねる問題です。

設定が複雑になり、難易度が高くなったと分析結果が出ていますが、対策としては常日頃から自分の考えをまとめておくことが重要です。そのために是非、新聞を活用しましょう。新聞は自分の興味・関心以外の事でも紙をめくっていくことで、出来事を示してくれます。本校の図書館には 4 社の新聞が置いてあります。積極的に、図書館にいきましょう。きっと新しい発見があります。



現在は「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」が重視されるが、
将来は「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」が一層求められる。

2015年	2050年
注意深さ・ミスがないこと 1.14	問題発見力 1.52
責任感・まじめさ 1.13	的確な予測 1.25
信頼感・誠実さ 1.12	革新性 1.19
基本機能（読み、書き、計算、等） 1.11	的確な決定 1.12
スピード 1.10	情報収集 1.11
柔軟性 1.10	客観視 1.11
社会常識・マナー 1.10	コンピュータスキル 1.09
粘り強さ 1.09	言語スキル：口頭 1.08
継続スキル 1.09	科学・技術 1.07
意欲・積極性 1.09	柔軟性 1.07
：	：
：	：

※継続スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル
※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

（注）本図表は、2015年と2050年の能力の需要度を表す係数で、56項目の平均値から、標準偏差が1.0に設定されている。

（出所）2015年は全国学力・学習状況調査、2050年は経済産業省「未来人材ビジョン」、2050年国際労働機関（ILO）「The future of jobs report 2022」、世界経済フォーラム（WEF）「The future of jobs report 2022」、経産省「未来人材ビジョン」。

【9・10月の主な予定】

9月15日（金）…専門委員会・学校委員会
 20日（水）…中間考査（21日）
 22日（金）…復習確認テスト（3）
 25日（月）…生徒朝会
 27日（水）…日フレ出張音楽教室
 生徒会役員選挙

10月3日（火）…専門委員会・学校委員会
 6日（金）…進路説明会（3）
 7日（土）…土曜授業 道徳授業地区公開講座
 10日（火）…専門委員会・学校委員会
 16日（月）…生徒総会リハーサル
 17日（火）…生徒総会

※今月の主な予定は発行時点のものです。社会情勢等の変化により、変更となる場合があります。
 大きな予定の変更などは、学校配信メール等でお伝えします

教育活動の紹介

【普通救命講習7月13日（木）1学年】 東京防災救急協会と荻窪消防署の方々の指導により、1年生を対象に普通救命講習を行いました。

動画やパンフレットによる講習を受けた後、全員が人形を使っての心肺蘇生法（胸骨圧迫と人工呼吸）とAEDの使い方について実習を通して学びました。

心肺蘇生法のように、特別な資格がなくても誰にでも行えるその他の応急手当（止血法や固定法、気道異物の除去など）の方法についても学びました。

「命」を助けるために私たちが知っておくべき知識、命のバトン、アンカーのお医者さんにつなげるために「今」できることを考え、命の大切さや安全について改めて意識することができました。



この普通救命講習では、副籍交流をしている永福学園に通う1年生の生徒も一緒に参加しました。同じ地域に住む同世代の仲間とのつながりを深め、ともに学び、ともに助け合い、支え合うためにも、気軽にあいさつをしあい、声をかけあうことのできる機会となりました。



【生き方を学ぶ講座7月14日（金）1学年】 世界最大の発行部数を有する「読売新聞社」では、「新聞は未来のトリセツ」をテーマに、見出しでニュースを知ることができることや取材を通して“すべての人の人生にドラマがあることを知った”ことなどを教えていただきました。また、“苦手だから無理”と限界を決めるのではなく、好きや得意を伸ばし、さらに追及することで、仕事に活かすことのできる自分の強みができ、自然と克服できるのだと熱いメッセージをいただきました。オンラインストアにおける世界トップクラスの企業である

「AMAZON」では、ロゴに込められている意味や思いについて知ることができました。また、「間違いをしない」ということは「仕事をしていない」ということであり、失敗が次に生かされることで成長できるので、辛抱強くチャレンジすることが大切だと教えていただきました。冷凍食品シリーズでもおなじみの「(株)ニッスイ」では、食品の製造販売だけでなく、医薬品開発にも携わっていることを学びました。

また、「多くの“仕事人”に支えられていて生活が成り立ち、さらにその多くの人たちもまた多くの“仕事人”に支えられており、ひとつの大きな輪のようにつながっていること、将来その大きな輪の中に入って活躍するために3つの願いである『興味』『強み』『ありがたみ』の『3み』を心にもちつづけてほしい」という熱いメッセージをいただきました。今回の講演を通して、将来働くにあたって「中学生の今、何を大切にするのか」について向き合うことのできる有意義な時間となりました。



【生き方を学ぶ講座 7月14日(金) 2学年】 第2学年は、三井住友銀行、東レ、住友生命保険相互会社の3つの企業の担当者からお話を伺いました。三井住友銀行の呉藤様からは、社会貢献のために様々な企業と提携して取り組みを行っている話を伺いました。東レの中嶋様からは、東レとは「もと（＝材料）」を作っている企業であるという話をいただきました。

住友生命保険相互会社の山口様からは、「ありがとう」を感じられる仕事をしていますと話をいただきました。どうして働くのか、何のために働くのか。生徒は話し合いや発表から、働くことに対する考えを深めていました。



【生き方を学ぶ講座 7月14日(金) 3学年】 第3学年は、三井住友カード(株)の内山様、井上様、日本IBM(株)の山崎様から各企業の業務内容や生き方、考え方についてお話いただきました。

名前は知っているものの、どのような業務を行っている企業なのか知らない生徒が多く、説明を聞いて、自分達の生活に身近に関わりのあるものに携わっていることを知り、さまざまなイメージを持って話を聞くことができました。三井住友カード(株)はお金を作る、管理するのにも多額の費用がかかるためその費用削減であること、外国人観光客にも日本でお金を使ってもらうなどといった目的のためにキャッシュレス社会の実現を目指している企業であることやクレジットカードを利用する際の留意点などをお話いただきました。日本IBM(株)は銀行ATM機械や駅の券売機などに使われている半導体など、情報システム関連の企業であり、私たちの生活が安全、安心なものになることを目指していることをお話していただきました。

また、「今自分がやっている仕事の意味を常に考える」「大変だと思う仕事こそチャレンジしてみる」「客や仕事など嫌だなと思うこともそのことを調べていくといつの間にか好きになっていく」「ピンチのときには逃げることも大切で、次の新しい環境で再びチャレンジする」といった仕事をしているうえで感じたことや学んだことを教えていただきました。

自分の進路について向き合っている3年生にとって、今日の講話はとても前向きになれる、勇気を持てるものとなりました。生徒の多くの質問にも丁寧に回答いただき、大変有意義な時間となりました。



本校生徒の活躍

※中学生海外留学事業 派遣生 2年 [redacted]

※広島平和学習中学生派遣事業 派遣生 2年 [redacted]

(3月の学習発表会で成果を校内で発表予定)

※バドミントン部

第九支部大会 女子団体 二位 2年 [redacted] 2年 [redacted]
1年 [redacted] 1年 [redacted]

区民祭 男子一部複 三位 2年 [redacted] 2年 [redacted]
男子二部単 一位 1年 [redacted]
女子二部単 三位 1年 [redacted] 1年 [redacted]

※吹奏楽部

TBSこども音楽コンクール 地区大会 管楽合唱部門 優良賞
第63回東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

※混声合唱部

TBSこども音楽コンクール 地区大会 合唱部門 優良賞
NHK全国学校音楽コンクール 中学の部予選C 奨励賞

令和５年度 全国・東京都・杉並区学力調査 結果報告

令和５年度の各調査結果が出そろいました。昨年度から「杉並区 特定の課題に対する調査」は全学年実施から３学年のみの実施に変わり、今年度は「全国学力・学習状況調査」で英語が実施されました。

令和５年度 全国学力・学習状況調査 平均正答率（％）

	国 語	数 学	英 語
東原中学校	75	56	62
東京都（公立）	72	54	52
全国（公立）	69.8	51.0	45.6

【全国学力・学習状況調査】

実施日：令和５年４月１８日(火)

対象：第３学年

令和５年度 東京都 学力向上を図るための調査 調査結果 回答率（％）

質問事項	全学年		１学年		２学年		３学年	
	本校	都	本校	都	本校	都	本校	都
学習の動機								
分かることやできることが楽しいから	82.3	80.1	89.3	82.1	79.3	77.9	77.5	80.0
しっかり考えられるようになりたいから	79.3	81.1	88.1	85.3	72.8	78.6	76.0	79.5
将来の仕事や生活に役立つから	82.8	81.7	82.2	84.0	85.7	80.9	80.3	80.3
友達や先生と学習するのが楽しいから	69.8	68.4	83.4	75.3	66.3	66.2	57.8	63.7
学校の学習で人に負けたくないから	51.7	51.3	52.4	49.6	48.1	50.3	54.9	54.0
先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから	39.6	42.2	40.5	40.9	39.0	42.4	39.4	43.2
学習の進め方(教科共通)								
確実にできるようになるまで、くり返し練習している	64.7	65.0	76.2	67.8	58.5	61.2	57.8	67.1
難しいと感じる問題でも最後まであきらめずに取り組んでいる	62.9	69.9	77.4	76.4	54.6	66.3	54.9	66.8
分からないことがあっても、学習を続けるようにしている	77.2	77.7	88.1	82.3	72.8	74.4	69.0	76.3
集中して学習に取り組んでいる	73.7	79.8	83.3	84.6	70.1	76.8	66.2	77.7
どうやらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている	51.3	60.5	63.2	64.2	50.7	57.0	38.1	60.4
学習の途中で、分からないところやできないところはどこか考えている	75.0	79.6	78.5	81.2	72.8	77.1	73.3	80.5
学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している	59.1	63.6	71.5	66.3	53.3	60.9	50.7	63.6
テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている	78.9	77.3	86.9	81.1	74.1	74.6	74.7	76.1
他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている	65.1	65.5	72.6	66.1	63.7	63.2	57.7	66.9
分からないときは、他の人や先生に質問して解決している	78.0	78.3	85.7	80.0	66.3	76.2	81.7	78.8
自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている	53.0	49.0	58.3	51.8	53.3	45.8	46.5	49.3
他の人と相談して、考えを深めるようにしている	63.4	69.8	72.6	72.2	59.8	67.1	56.3	70.3
学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている	63.8	69.0	70.3	67.8	55.9	67.1	64.9	72.0
どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している	79.8	77.6	85.7	79.3	76.6	75.1	76.1	78.5
答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している	73.7	78.2	73.8	79.4	74.1	75.7	73.3	79.4
大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている	82.7	87.2	89.3	89.2	81.9	85.5	76.0	86.8

令和５年度 杉並区 特定の課題に対する調査 平均正答率（％）

	国 語	数 学	英 語
東原中学校	62. 9	52. 5	53. 5
杉並区	61. 7	58. 3	54. 7

【特定課題に対する調査】

実施日：令和５年５月１１日(木)

対象：第３学年

以上の結果から各教員が、生徒一人一人が、分かった喜び、できた実感を味わうことができるような授業力向上のための分析おこなってまいります。また、各行事等を通して「自分の考えを伝える」「他者の考えを尊重する」ことで自己肯定感を高めていけるような取組を各学年、学校全体で実践していきます。今後とも、ご家庭、地域、学校の連携を深め、生徒を育ててまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。